健康と生活の情報誌 ニュー・ライフ

NEW LIFE

おかげさまで40周年 LIFE IN KYOTO
No.141
2026年5月
発行者／社会福祉法人 京都社会事業財団 ライフ・イン京都
制作・印刷／有限会社 アクト

ライフ・イン京都
〒615-8256
京都市西京区山田平尾町46-2
TEL.075-381-1870　FAX.075-381-1899
https://lifeinkyoto.or.jp

理　念

介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」は、自立支援の信念のもとに、永年社会に貢献された方々に、今一度自分の個性を見出し、豊かな生活環境の中で、活気ある生活、楽しい「生きがい」を再認識していただくと共に、すべての職員が自分の仕事に誇りを持ち、社会と地域に貢献することを目指します。



下鴨神社 御蔭祭

5月15日の葵祭に先駆け、5月12日に行われる下鴨神社の重要な神事「御蔭祭（みかげまつり）」は、比叡山山麓の御蔭山（御蔭神社）で新たに生まれた御神霊（荒御魂）を本社へ迎える儀式です。神馬に御神霊を乗せて進むこの祭りは、日本最古の神幸列ともいわれ、古代の信仰形態を今に伝えています。

神事は複数の儀式から構成されています。まず、下鴨神社を出発した神職や氏子らの行列が御蔭山へ巡行し、正午にお生まれになった御神霊をお迎えします。そして下山途中、賀茂波爾神社（かものはにじんじゃ）での路次祭（ろじさい）で舞楽「還城楽（げんじょうらく）」を奉納した後、御神霊は神馬に遷されて下鴨神社へ向かいます。

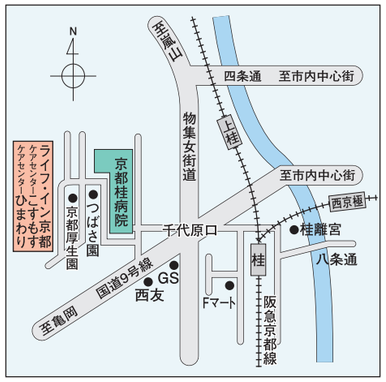
夕方には糺（ただす）の森の祭場「切芝（きりしば）」にて、御神霊を歓迎する切芝神事が執り行われます。神を讃える歌とともに、葵の葉を飾った舞人による「東遊（あずまあそび）」の舞楽が奉納された後、御神霊は御本殿へと進み、下鴨神社の御神霊と一体となってその力を高めます。

『日めくり京都365』
朝日新聞出版より編集・引用



ライフ・イン京都のデータ

事業主体：社会福祉法人 京都社会事業財団
敷地面積：14,216.87㎡　事業主体所有
建物延面積：22,200.88㎡　事業主体所有
居室数：一般居室（1DK～3LDK）全室個室77タイプ　226室（定員274名）
介護居室（ワンルーム）全室個室3タイプ　82室（定員82名）
居室面積：一般居室　31.19㎡～85.56㎡　介護居室　15.71㎡～21.45㎡
交通の便：阪急京都線桂駅から約2,200m（専用バス約15分）
類型：介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）
表示事項：①居住の権利形態：利用権方式　②利用料支払方式：選択方式
③入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護
④介護保険：京都市指定介護保険特定施設（一般型特定施設）
⑤介護居室区分：全室個室
⑥一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2：1以上



入居推進部からのお知らせ



5月23日（土）京都桂病院で「第2回 かつらフェス」が開催されます！

前回、初開催にもかかわらず1,500名以上もの方々にご来場いただいた大盛況のイベントが今年はさらにパワーアップ!!「病院をたのしもう」をテーマに、調剤体験や手術体験などのかつら病院のお仕事体験コーナー。特別企画のキッズダンスステージ。救急科Drの講演会。グルメコーナー（10店舗）など、ご家族みんなで楽しめる企画が満載です。

当日は「ライフ・イン京都」も入居相談ブースを出展し、一緒にイベントを盛り上げます。皆様お誘い合わせの上、ぜひお気軽にお立ち寄りください！

主催 社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院
問い合わせ先 京都桂病院 経営企画室 企画広報 TEL.075-381-5811（代）

社会福祉法人 京都社会事業財団
ライフ・イン京都
LIFE IN KYOTO
〒615-8256　京都市西京区山田平尾町46-2
TEL. 075-381-1870　FAX. 075-381-1899
https://lifeinkyoto.or.jp

ご入居に関するお問い合わせは ▶ 0120-406-140（入居推進部まで）午前9時～午後5時（365日対応受付）



京都桂病院の紹介

2025年4月よりライフ・イン京都の顧問に就任しました
若園と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉法人 京都社会事業財団
介護付有料老人ホーム ライフ・イン京都
顧問 若園 吉裕

私は昨年度まで9年間京都桂病院の院長を務めておりました。京都桂病院とライフ・イン京都は共に社会福祉法人 京都社会事業財団に所属しています。この法人は3つの病院と1つの透析クリニックの医療事業、4つの施設の高齢・介護・障害事業、3保育園と児童養護施設・児童心理治療施設、児童館の6つの施設の児童福祉事業を展開しています。ここでは京都桂病院について紹介させていただきたいと思います。

京都桂病院は昭和12年11月10日に結核療養所の松尾病院として創設され、その後昭和39年に総合病院化を図り京都桂病院となりました。最近では令和2年にGH棟を建築し療養環境の充実と緩和病棟を新設し、令和5年には新B棟を建築し救急の拡大整備とハイケアユニットの増床・整備、内視鏡センター・放射線科の集約移転を行いました。現在は病床数551床の高度急性期・急性期の病院として地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として京都府や国より指定を受けております。また昨年1年間の救急車搬入件数は7411台、全身麻酔の手術件数は2273件でした。

センターとして消化器センター（消化器内科、外科）、呼吸器センター（呼吸器内科、呼吸器外科）、心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科）、脳卒中センター（脳神経内科、脳神経外科）と主として救急とハイケアユニットに対応する救急科があります。それ以外の標榜科として血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科、腫瘍内科、皮膚科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、形成外科、乳腺科、麻酔科、産婦人科、小児科、緩和ケア科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科があり最新の医療を提供しています。

脳卒中や心筋梗塞や吐下血や呼吸困難などの急を要する疾患に対しては救急科と4センターが中心となり各科も対応しており、がんに対しては各診療科が対応しますが、特に腫瘍内科や緩和ケア科や放射線科や病理診断科も集学的に対応しています。また高齢の方に多い疾患については各内科系、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、形成外科が中心に対応しています。もちろん院内では多職種がチーム医療を実践し患者さん中心の医療を提供しています。もし手術やその他の治療が必要になった場合殆どの疾患に対応でき、それが終了すればそのままライフ・イン京都に戻っていただきます。中には引き続きリハビリや医療継続が必要な場合があり、そのような場合には機能の違う回復期の病院に転院していただくこともあります。

このように健康上の問題が生じた場合、隣接し同一法人の京都桂病院をご利用していただくことができ、手術や治療が終われば多くの場合当施設におかえりいただくことになります。また日常のことがらについては施設内に診療所がありますのでそちらも併せてご利用ください。





ぶらり・らいふ探訪

笑顔の輪！心と体をほぐす
運動教室

毎週金曜日に開催され、1日に延べ約30～40名が参加する大人気の「介護予防 運動教室」。今回は、本館介護課 運動教室担当の加藤職員と、参加されているご入居者3名（橋本様、中島様ご夫婦）にお集まりいただき、運動教室の魅力についてお話を伺いました。


本館介護課
加藤 凌太職員

体操以上の価値がある「交流の場」

加藤職員が大切にしているのは、単なる運動の場ではなく「交流の場」であることです。「会話を楽しんだり、友人関係が生まれたりと、心の面でも良い変化も、体調の変化に気づける大切な機会です」と話します。他の担当の職員とも相談し体操プログラムにはゲームや脳トレになる指体操なども取り入れ、誰でも楽しめるように工夫がされており、気軽に参加できる教室となっています。

自分のペースで、無理なく楽しく

橋本様は「ここへ来て皆さんと話すと気分が晴れます。体も動かせて、すっとしますね」と笑顔。中島様ご夫婦も「できる範囲で大丈夫と言ってもらえるので安心して参加できます」とお話されます。体操は椅子に座ったままでも行える内容で、ADL（日常生活動作）の程度にかかわらず、その方の状態に合わせて無理なく取り組めるのが特徴です。普段着のまま気軽に参加できる点も、継続のしやすさにつながっています。

中島様ご夫婦が入居されて間も無くコロナ禍になりました。当初は交流の機会が限られていましたが、今では教室を通じて自然と参加者同士で会話が生まれ、大切な憩いの時間になっておられます。


橋本 富子様


中島 喜美子様


中島 集治様

まずは一度、お気軽に見学ください

「継続のプレッシャーはありません。お試しでのご参加でも大丈夫です。まずは一度、見学だけでも大歓迎です」と加藤職員。心も体もリフレッシュできるこの教室に、ぜひお気軽に足を運んでみてください。



毎週金曜日
運動教室
2階多目的ホール
午前 10：30～11：30
午後 14：00～15：00
16：00～16：30

2026年 1月～4月 最近のイベントの紹介

音楽と笑顔あふれるひととき

当施設では、日々の生活に彩りを添えるさまざまなイベントを開催しています。
この冬は、音楽を楽しむひとときを中心に、心豊かな時間を過ごしました。

2/14 フルートトリオが贈るバレンタインコンサート



フルートのやさしい音色が響き渡り、会場は穏やかで心安らぐ空間となりました。
音楽に耳を傾けながら、ゆったりとした時間を楽しまれました。

3/8 ほろ酔いコンサート



沖縄民謡やJ-POPの演奏に、自然と手拍子が生まれ、会場は明るく賑やかな雰囲気に包まれました。
懐かしい音楽に触れながら、皆様笑顔あふれるひとときを過ごされました。

季節の行事・外出の様子

1/1 新春互例会



1/6 健康体操遠足 松尾大社へ初詣



1/14 どんと焼き



3/10 健康体操遠足 城南宮（しだれ梅と椿）



色とりどりのしだれ梅や椿を眺めながら、春の訪れを感じ、皆様の表情にも自然と笑みがこぼれていました。

4/3 お花見会



満開の桜のもと、なだ万のお花見弁当を楽しみながら、会話も弾み、春ならではの華やかなひとときとなりました。

4/14 健康体操遠足 マールブランシュ（上桂店）



わいわい健康探検コラム
～フィールド医学通信～

タイ カンチャナブリーを訪ねて

京都大学 健康情報学 岡本 芙美

こんにちは。京都大学の研究生で薬剤師の岡本芙美です。このたび、タイ西部のカンチャナブリー県を訪れ、現地の生活や薬局の様子を見学する機会を得ました。



サンクラブリーの教育支援施設「虹の学校」で凧を工作する子どもたち。ハサミだけではなく、ナタのような工具も使いこなせます。（2026年1月29日撮影）

タイは、約8割を占めるタイ族のほか、中華系やマレー系、ラオス系など、さまざまな民族が暮らす多民族国家です。ミャンマー、ラオス、カンボジア、マレーシアと国境を接し、人や文化の往来が歴史的に続いてきました。山岳地域には古くから少数民族や周辺国から移り住んだ人々が暮らしており、同じタイ国内であっても地域によって生活環境は大きく異なります。今回は、その特徴が色濃く表れるカンチャナブリー県について紹介します。

カンチャナブリーは、映画『戦場にかける橋』の舞台として知られる地域です。第二次世界大戦中、日本軍によって建設された泰緬鉄道の歴史を今に伝え、多くの人が訪れる観光地となっています。一方で、この県はミャンマーとの国境を有する地域でもあります。サンクラブリーは国境に近い町で、多様な民族が行き交っています。

サンクラブリーでは、教育支援施設「虹の学校」を見学させていただきました。ここには5歳から22歳まで、少数民族のカレン族やモン族の子どもたち44名が生活しながら学んでいます。山岳民族の貧困家庭の子どもが多く、子どもたちのほとんどは家族を含め国籍を持っていません。学校は日本人の片岡朋子校長先生が中心に運営されており、子どもたちはタイ語を学びながら小学校教育を受け、地元の中学・高校へ進学していきます。その後、すべてではありませんが大学進学の道も開かれています。

しかし、地域ではデング熱などの熱帯感染症が今も身近な問題となっています。また、他の町へ移動する際には検問が設けられており、私自身も帰路でパスポート確認を受け、国籍の違いが生活に影響する現実を実感しました。国籍を持たないことによる社会的制約や差別も存在しています。

カンチャナブリー県内では、いくつかの薬局も見学しました。薬局にはタイ人だけでなく、モン族やミャンマー出身者など多様な背景の患者がよく訪れます。言語が通じない場面ではスマートフォンの翻訳アプリを使いながら対応しているそうです。軽い体調不良では、遠方の大きな病院を受診するよりも薬局を利用する方が、経済的負担が少ない場合もあります。私が訪問した薬局では、地元の人の相談を受け、必要な場合には町の大きな病院受診を勧めると話していました。薬局が一次的な選別機能を果たすことができれば、病院へアクセスしにくい人々の助けになるのではないかと感じました。

日本にはない陸続きの国境地域では、多様な背景をもつ人々が共に生活していました。実際に現地を訪れ、出会った方々の取り組みを応援していきたいと感じました。京都もまた多くの外国人が暮らし、観光に訪れる地域です。遠い世界の出来事ではなく、私たちの身近な社会にも通じる光景として心に残りました。

このコラムは、ライフ・イン京都 健康長寿計画の一環です。

ケアセンターひまわり・ケアセンターこすもす

ケアセンター便り

みんなのケアセンター作品展





開催日程　2月17日(火)～3月17日(火)
場　所　ひまわり1階　ロビー

ケアセンターで作品展を初開催いたしました！

ご入居者様・職員の素晴らしい作品をはじめ、日々アクティビティで制作された多くの作品を展示させていただきました。普段は静かなロビーも、皆様の作品によって美術館のような空間へと変わりました。

作品をご覧になられた方からは、「すばらしい」「プロの仕事のようだ」といった絶賛の声が相次ぎました。

この度は大変ご好評をいただきましたことから、今後も第2回、第3回と開催を検討してまいります。

（インスタグラムにも写真を掲載しています。ぜひご覧ください。）













大好評!!

Café はんなり

2月17日(火)

今回のテーマ
『バレンタイン』



毎回大好評をいただいております『caféはんなり』今回のテーマは「バレンタイン」。黒を基調とした落ち着いた雰囲気で楽しいひとときを過ごしていただきました。

ご入居者からはそれぞれ「バレンタイン」のエピソードが聞かれ、昔を懐かしむ声もチラホラ。

次回もお楽しみに

information
お知らせ掲示板

入退去状況

●新しくご入居されました
令和8年1月から4月末まで

【本　館】
令和8年4月1日
五〇五号室　清水裕一様
万里様

令和8年4月23日
八一一号室　矢野茂様

＊他に3名の方がご入居されました＊

【ひまわり】
令和8年3月6日
二一六号室　岸邉洋子様
令和8年3月13日
二〇六号室　小塚恵美子様
令和8年3月23日
四〇五号室　天野正允様

＊他に3名の方がご入居されました＊

●ご逝去のお知らせ
令和8年1月から4月末までの間に、本館5名、ケアセンター11名の方がお亡くなりになられました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新人職員紹介

●ホーム管理課



大口 和貴
京都府出身
趣味：ドライブ

●ケアセンター看護課



太田 実那
秋田県出身
趣味：登山



森岡 裕美子
京都府出身
趣味：読書

●ケアセンター介護課



ス・ス・ライン
ミャンマー出身
趣味：料理



岩瀬 透夜
京都府出身
趣味：音楽鑑賞



朝倉 壮哉
京都府出身
趣味：音楽鑑賞

より快適にご利用いただける空間へ

5階 美容室が新しくなりました

明るく落ち着いた空間に生まれ変わりました



美容室の営業日のご案内



こがみ美容室
毎週月曜日

グロワール　第1、第3金曜日



ぜひお気軽にご利用ください